

# 事業別戦略

このパートでは、各事業の戦略について、それぞれの機会、リスク、強みを踏まえ、ご説明しています。また、サステナビリティへの取り組み方針についてもご紹介しています。

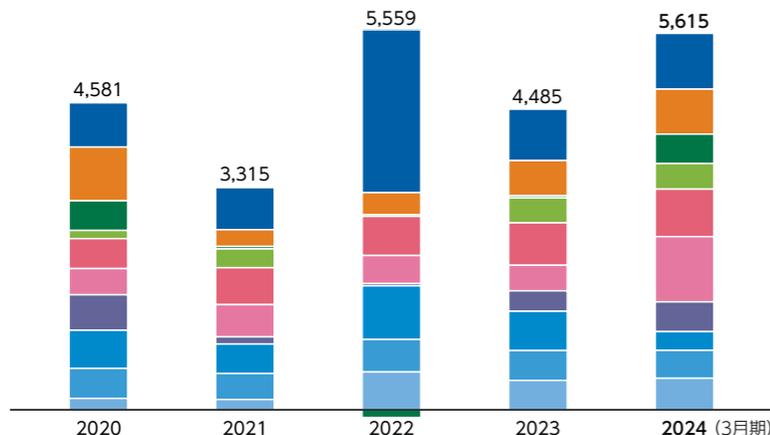
セグメント	ユニット	事業の特徴	ページ
法人営業・メンテナンスリース	法人営業	日本全国に営業ネットワークを有す。グループ営業の中核的なプラットフォームとして法人のお客さまに最適なソリューションを提供。	▶ P.71
	自動車	自動車に関するあらゆるサービスをワンストップで提供。車両管理台数は世界トップクラス。	▶ P.72
	レンタル	国内最大規模の機器レンタル会社。「機器」だけでなく「技術」と「ノウハウ」もあわせて提供。	▶ P.73
不動産	投資・運営	不動産に関する幅広い専門性を保有。開発・投資、アセットマネジメント、施設運営と多角的に展開。	▶ P.74
	大京	分譲マンションを中心とした不動産の開発、流通、建物の維持管理を展開。	▶ P.75
事業投資・コンセッション	事業投資	グループの専門性とネットワークを活用したハンズオン経営で投資先の企業価値向上を追求。	▶ P.76
	コンセッション	所有権を公的機関に残したまま、公共施設などを運営。関西エアポートは関西3空港*を運営。	▶ P.77
環境エネルギー	環境エネルギー	グローバルに再生可能エネルギー事業を展開。国内では廃棄物の収集・運搬、中間処理、再資源化のバリューチェーンを構築。バイオガス発電施設も手がける。	▶ P.78
保険	生命保険	死亡保険・医療保険などニーズに応える商品を提供。お客さまおよび外部から高い評価。	▶ P.79
銀行・クレジット	銀行	投資用不動産ローンにおいて長年の実績。店舗網やATMを持たず、インターネットを通じた取引が中心。	▶ P.80
輸送機器	輸送機器	航空機および船舶のリースやアセットマネジメントに関するノウハウを保有。航空機リースでは世界有数の規模。	▶ P.81
ORIX USA	ORIX USA	金融から事業投資まで、第三者の資金も活用し、米国企業に資金調達ソリューションを提供。	▶ P.82
ORIX Europe	ORIX Europe	Robecoのほか複数のブランドで資産運用事業を展開。RobecoはESG投資の分野で高い専門性を有す。	▶ P.83
アジア・豪州	アジア・豪州	アジア各国で主に金融サービスを現地のお客さまに提供。中華圏・韓国ではPE投資も展開。	▶ P.84

\* 関西国際空港、大阪国際空港、神戸空港。

# セグメント概要 (利益・資産・ROA・社員数)

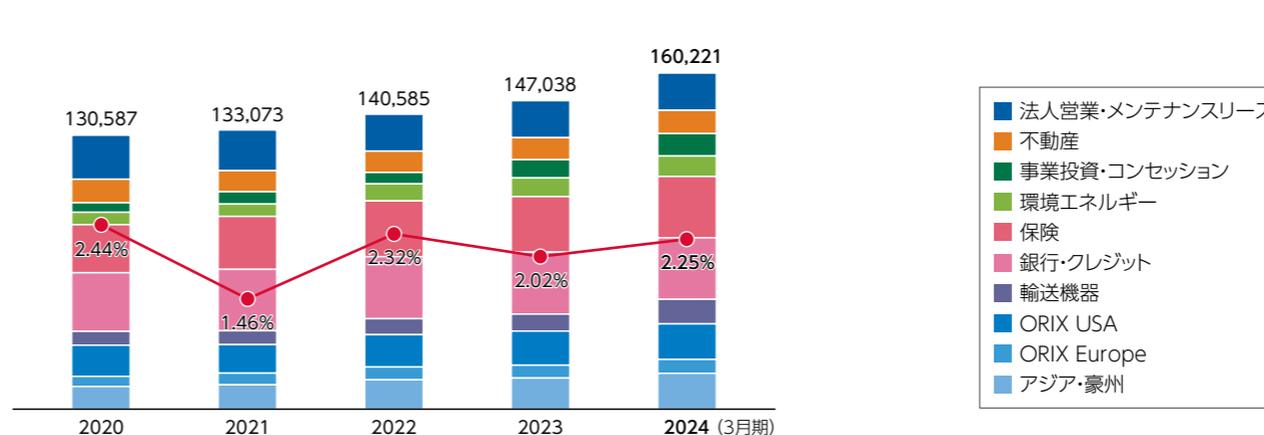
## 5年間の推移

セグメント利益 (億円)



2021年3月期はコロナ禍の影響で減益。2022年3月期は法人営業で弥生売却益1,630億円を計上。2023年3月期はリオープン進展や売却益が寄与、弥生の売却による影響を除けば、前期比で増益。2024年3月期は、国内の不動産、事業投資・コンセッションの好調に加え、クレジット社の株式一部譲渡による売却益もあり前期比増益。

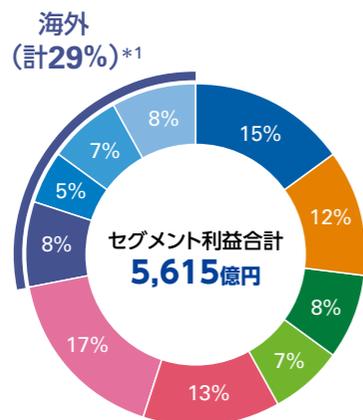
セグメント資産 (億円) / セグメント資産当期純利益率 (ROA) (%)



2024年3月末の資産は前期末比1兆3,183億円増加。主な増加要因は、東芝への出資・融資、三徳船舶の事業承継、航空機の機体購入、アジア・豪州での新規実行。このほか、為替変動の影響あり。

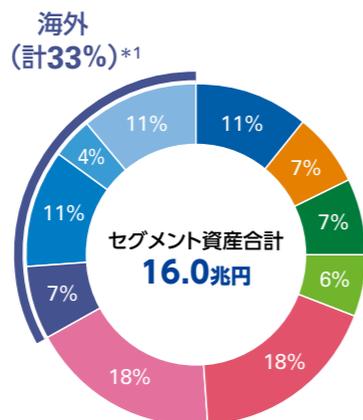
## 2024年3月期

セグメント別利益構成

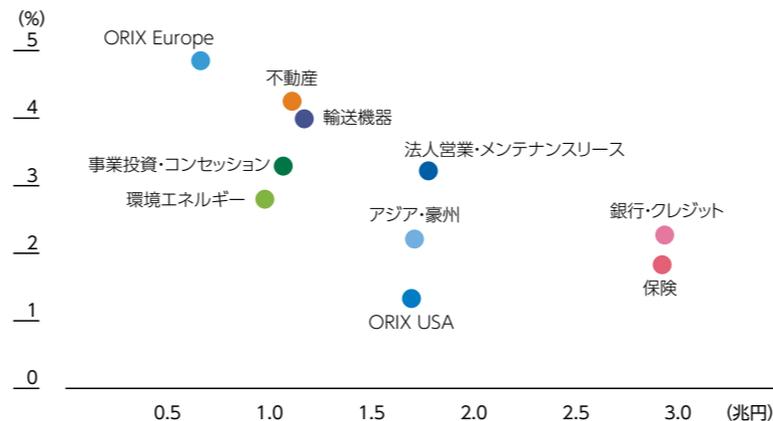


\*1 環境エネルギー（海外）を含まない。

セグメント別資産構成

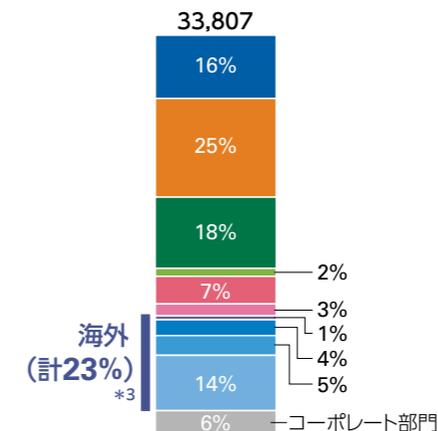


セグメント資産 (兆円) / ROA (%) \*2



\*2 セグメント資産ROAは、ユニットごとの税引後利益を用いて算出。

社員数 (名) / 社員構成 (%)



\*3 輸送機器、ORIX USA、ORIX Europe、アジア・豪州の4セグメントの合計。コーポレート部門は含まない。